

確率論的リスク評価日米ラウンドテーブルの開催実績

1. 日 時 平成26年2月20日(木) 9:30~18:00

21日(金) 9:30~17:00

2. 場 所 三田共用会議所4階第4特別会議室

3. 議事次第

2月20日(木)

9:30- ・挨拶

(中西経済産業省大臣官房審議官、ライオンズ米国エネルギー省次官補)

9:40- ・基調講演

アポストラキス米国原子力規制委員会委員

更田原子力規制委員会委員

ガリック元原子力廃棄物技術評価委員会委員長

近藤原子力委員会委員長

11:20-11:50 ・基調講演者によるパネルディスカッション

(モデレーター：ライオンズ米国エネルギー省次官補)

(午後は個別分野に関する発表、意見交換)

- ・ 内的事象PRA
- ・ 外的事象PRA
- ・ PRAの規制への活用

2月21日(金)

(午前) ・基調講演

グリーンリー エクセロン上席副社長等

八木電気事業連合会会長

(午後は個別分野に関する発表、意見交換)

- ・ セキュリティPRA
- ・ 停止中PRA
- ・ レベル3PRA、マルチ・ユニットPRA

4. 出席者

【日本側】

近藤 駿介 原子力委員会委員長

更田 豊志 原子力規制委員会委員

中西 宏典 経済産業省大臣官房審議官

高田 毅士 東京大学教授

山口 彰 大阪大学教授

八木 誠 電気事業連合会会長

※その他、資源エネルギー庁（事務局）、原子力規制委員会、大学、電気事業者、メーカー、研究機関等から出席

【米国側】

ピーター・B・ライオンズ 米国エネルギー省次官補

ジョージ・アポストラキス 米国原子力規制委員会委員

B・ジョン・ガリック 元原子力廃棄物技術評価委員会議長

スコット・A・グリーンリー エクセロン上級副社長

デイビッド・H・ジョンソン ABSコンサルティング副社長

ダグ・トルー エリン・エンジニアリング&リサーチ会長、他

※その他、エネルギー省（事務局、国立研究所を含む）、原子力規制委員会、電気事業者、エンジニアリング会社、コンサルティング会社等から出席

※2月20日、21日の両日を通じて、延べ120名程度が参加。

5. 開催趣旨

平成25年11月4日に民生用原子力協力に関する日米二国間委員会（日本側議長：杉山晋輔外務審議官、米側議長：ダニエル・B・ポネマン・エネルギー省副長官）第2回会合がワシントンにて開催され、幅広い政府機関が参加しました。

民生用原子力の研究開発に関し、日本側は、確率論的リスク評価（PRA）に関する二国間の協力プロジェクト立ち上げを提案しました。米国はこの提案を前向きに受け止め、その後両国政府は、両国政府と民間のPRA専門家、実務家の参加の下、PRAの手法及びその原子力安全への適用等に関する日米ラウンドテーブルを開催することで一致しました。

PRAの手法の高度化及びその原子力安全への適用を促進するため、日米の専門家、関係機関が参加する「確率論的リスク評価日米ラウンドテーブル」を開催しました。両国におけるPRAに関する活動・経験を共有し、日米協力による我が国におけるPRAの手法及び適用の促進に向けた議論を実施しました。